



【報道関係各位】

2022年3月24日
Times Higher Education
株式会社ベネッセホールディングス

「THE 世界大学ランキング日本版 2022」発表

世界で最も権威のある英国の教育専門誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(以下「THE」)は、高等教育界に特化したデータ・分析・情報を提供し続けており、「世界大学ランキング」を2004年から発表しています。この度、THEはベネッセグループの協力のもと、大学の教学改革やグローバル化の推進に向けて、「THE 世界大学ランキング日本版 2022」を発表いたします。

ベネッセグループは2016年にTHEと業務提携契約を締結し、THEの国内総合パートナーとして協力してまいりました。「THE 世界大学ランキング日本版」は2017年3月に1回目の発表を行い、今年で6回目となります。毎年9月にTHEが発表する世界版ランキングでは「研究力」を軸に据える一方で、日本版ランキングは、日本の教育事情により即した形で大学の魅力や特性が表れるように、大学の「教育力」を測る設計となっています。

ランキング指標は「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野で構成されています。一般的な国内の大学ランキングは、主に入学時の学力(合格基準)が軸になっていますが、本ランキングは学生の学びの質や成長性に焦点を当てたものとなっています。

日本版ランキングの2022年版では273大学がランク付けされました。

総合ランキングでは、東北大学が昨年に続き1位に、1つ順位を上げた東京大学(昨年3位)が2位に、同率3位には2つ順位を上げた大阪大学(昨年5位)と東京工業大学(昨年2位)が、続いて5位に京都大学(昨年4位)、6位は昨年に続き北海道大学(昨年6位)がランクインしました。

また、分野別ランキングでは、「教育リソース」で東京大学が再び1位となり、「教育充実度」は国際教養大学、「教育成果」は京都大学と、昨年から変化はなく、「国際性」では立命館アジア太平洋大学が初めて1位になりました。(ランキング詳細については、次ページ以降をご覧ください)

様々な社会環境の変化の中、大学の経営、ガバナンス、そして何よりも「教育の質保証」といった観点から日本の高等教育機関は注目されています。大学改革に向けて、客観的なデータを管理・活用するIRの必要性は増す一方です。そして、今後10年で10%、さらに20年後には20%と、国内の18歳人口が減少する状況下、世界中の大学進学希望者に日本の大学の魅力を多様な側面から伝えていくことは極めて重要です。

THEおよびベネッセグループは、大学ランキングを順位そのものにとどめることなく、大学独自の魅力や特性を客観的に把握するツールとして、大学改革でのプロセスで活用していただきたいと思います。これからも、この日本版ランキングを、多くの関係者の皆さまと改善を重ねながら育てていく所存です。日本の大学における教育改革の指標とするとともに、国内外の大学進学希望者にとって大学選びの一助になれば幸いです。

Times Higher Education (THE)について

THEは50年にわたり高等教育界に特化したデータ・情報を提供し続けている世界的なオーソリティです:

www.timeshighereducation.com @timeshighered

THE 世界大学ランキング日本版 2022【ランキング指標】

2022年版のランキング指標は、2021年版から変更はありません。2019年版以来、指標における「教育充実度」の充実を図る目的で、“教員・学生の交流、協働学習の機会”、“授業・指導の充実度”、“大学の推奨度”の3つの学生調査の結果が、重要な指標項目としてランキングに反映されています。

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	%	
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	8	34
	学生一人あたりの教員比率	8	
	教員一人あたりの論文数	7	
	大学合格者の学力	6	
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	5	
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	6	30
	学生調査：授業・指導の充実度	6	
	学生調査：大学の推奨度	6	
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	6	
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	6	
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	8	16
	研究者の評判調査	8	
国際性 Environment	外国人学生比率	5	20
	外国人教員比率	5	
	日本人学生の留学比率	5	
	外国語で行われている講座の比率	5	

【指標の補足説明】

分野 (Pillars)	項目 (Metrics)	THE によりスコア化される際に用いられている情報
教育リソース Resources	学生一人あたりの資金	経常収入、在籍学生数
	学生一人あたりの教員比率	教員数、在籍学生数
	教員一人あたりの論文数	論文数、教員数
	大学合格者の学力	ベネッセ総合学カテストにおける大学合格者の学力
	教員一人あたりの競争的資金獲得数	競争的資金（内閣府 HP に掲載）の大学別獲得数、教員数
教育充実度 Engagement	学生調査：教員・学生の交流、協働学習の機会	設問「教員・学生の交流、協働学習の機会の程度」の回答平均値
	学生調査：授業・指導の充実度	設問「授業・指導の充実度」の回答平均値
	学生調査：大学の推奨度	設問「大学の推奨度」の回答平均値
	高校教員の評判調査：グローバル人材育成の重視	設問「グローバル人材育成に力を入れている」の得票数
	高校教員の評判調査：入学後の能力伸長	設問「生徒の力を伸ばしている」の得票数
教育成果 Outcomes	企業人事の評判調査	「企業の人事担当者から見た大学のイメージ調査」の得票数
	研究者の評判調査	THE による高等教育機関研究者の評判調査の得票数
国際性 Environment	外国人学生比率	在籍外国人学生数、在籍学生数
	外国人教員比率	在籍外国人教員数、教員数
	日本人学生の留学比率	日本人学生の留学生数、在籍学生数
	外国語で行われている講座の比率	外国語で行われている講座数、全講座数

THE 世界大学ランキング日本版 2022【総合順位】(50位まで抜粋)

順位		大学名	スコア				
2022 総合	昨年 総合		総合 Overall	教育リソース Resources	教育充実度 Engagement	教育成果 Outcomes	国際性 Environment
1	1	東北大学	85.6	78.6	84.5	98.6	88.6
2	3	東京大学	81.7	81.3	82.7	96.9	69.0
=3	5	大阪大学	81.6	72.2	83.7	96.6	82.7
=3	2	東京工業大学	81.6	72.9	84.1	95.9	81.2
5	4	京都大学	80.7	76.8	78.0	98.8	76.6
6	6	北海道大学	79.0	67.6	81.2	98.7	79.1
7	8	九州大学	78.8	69.4	81.9	96.2	76.1
8	7	名古屋大学	78.1	71.4	80.5	97.2	70.8
9	9	筑波大学	77.5	68.2	83.7	92.0	72.3
10	10	広島大学	72.3	60.2	81.1	77.3	75.9
11	12	慶應義塾大学	71.7	56.4	78.6	93.2	70.1
12	11	国際基督教大学	71.3	44.8	91.3	57.9	97.1
13	13	早稲田大学	71.1	45.6	78.8	94.6	84.1
14	15	神戸大学	70.4	60.3	78.3	77.6	70.0
15	17	東京医科歯科大学	69.0	80.7	61.5	56.6	70.3
16	16	一橋大学	68.3	43.6	81.0	78.0	83.8
17	14	国際教養大学	67.6	44.0	92.1	43.2	90.6
18	24	会津大学	65.8	57.7	81.1	38.0	78.6
19	=18	金沢大学	64.6	59.8	74.9	49.9	69.3
20	=18	上智大学	64.3	37.1	82.7	56.1	89.4
=21	=20	千葉大学	64.0	57.4	76.5	57.4	61.8
=21	23	岡山大学	64.0	57.0	73.3	56.4	68.1
23	=20	東京農工大学	63.5	61.3	71.9	50.4	65.1
24	22	立命館アジア太平洋大学	63.4	20.3-29.0	86.5	49.3	99.8
25	=25	お茶の水女子大学	63.1	57.7	79.8	41.7	64.5
26	27	横浜国立大学	62.7	47.1	74.4	58.7	74.9
27	28	東京外国語大学	62.5	35.6	84.5	47.0	87.6
28	=30	芝浦工業大学	61.5	43.7	78.3	49.6	76.3
29	32	東京理科大学	61.2	49.2	81.6	68.8	44.9
30	=33	長崎大学	60.9	57.0	69.8	49.1	63.8
=31	=33	熊本大学	60.2	56.8	69.1	48.4	62.1
=31	=25	長岡技術科学大学	60.2	54.2	67.0	36.8	78.8
=31	=30	立命館大学	60.2	34.2	81.6	54.2	76.9
34	=39	横浜市立大学	59.2	65.9	72.5	39.4	43.8
35	35	京都工芸繊維大学	58.5	52.0	62.5	41.6	77.4
36	36	豊橋技術科学大学	58.4	60.2	49.3-56.1	41.4	79.8
=37	38	電気通信大学	58.0	56.2	65.2	42.4	62.8
=37	37	九州工業大学	58.0	48.0	75.6	46.7	57.6
39	29	東京海洋大学	57.9	57.2	64.1	44.5	60.7
40	42	東京都立大学	57.8	53.2	68.6	53.2	53.3
=41	43	同志社大学	56.8	33.4	76.9	52.4	70.1
=41	=39	明治大学	56.8	36.0	79.6	52.6	61.1
43	41	神田外語大学	56.0	20.3-29.0	82.7	35.0	79.6
=44	48	関西学院大学	55.9	33.3	75.7	46.1	72.7
=44	44	立教大学	55.9	31.0	80.2	38.4	75.6
46	49	福岡女子大学	54.8	38.7	74.5	-	87.8
47	54	信州大学	54.0	52.1	70.3	49.7	28.7-38.8
=48	52	青山学院大学	53.9	33.8	76.6	44.6	61.4
=48	50	中央大学	53.9	36.8	76.6	44.0	57.1
=50	51	新潟大学	53.8	50.2	72.3	41.0	42.4
=50	53	大阪市立大学	53.8	61.5	62.2	45.0	28.7-38.8

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は英語表記のアルファベット順で掲載しています。

※「-」は、分野における順位が 201 位以下のためスコア非表示としています。

※詳細は「THE 世界大学ランキング 日本版」日本語公式サイトをご覧ください。 <https://japanuniversityrankings.jp/>

THE 世界大学ランキング日本版 2022【分野別順位】（20位まで抜粋）

教育リソース Resources			教育充実度 Engagement			教育成果 Outcomes			国際性 Environment		
順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名	順位	昨年	大学名
1	4	東京大学	1	1	国際教養大学	1	1	京都大学	1	2	立命館アジア太平洋大学
2	1	東京医科歯科大学	2	2	国際基督教大学	2	4	北海道大学	2	3	国際基督教大学
3	2	兵庫医科大学	3	3	立命館アジア太平洋大学	3	2	東北大学	3	4	大阪女学院大学
4	3	京都府立医科大学	=4	8	東北大学	4	5	名古屋大学	4	8	宮崎国際大学
5	6	浜松医科大学	=4	6	東京外国語大学	5	8	東京大学	5	9	創価大学
6	5	東北大学	6	5	東京工業大学	6	6	大阪大学	6	1	国際教養大学
7	7	奈良県立医科大学	=7	17	大阪大学	7	3	九州大学	7	5	関西外国語大学
=8	10	京都大学	=7	4	筑波大学	8	7	東京工業大学	8	12	上智大学
=8	11	東京医科大学	=9	13	神田外国語大学	9	10	早稲田大学	9	15	東北大学
10	9	滋賀医科大学	=9	=10	上智大学	10	11	慶應義塾大学	10	=10	神戸市外国語大学
11	12	日本医科大学	=9	16	東京大学	11	9	筑波大学	11	13	東京国際大学
12	14	愛知医科大学	12	14	九州大学	12	14	一橋大学	=12	6	梅光学院大学
13	13	札幌医科大学	=13	19	立命館大学	13	13	神戸大学	=12	18	麗澤大学
14	8	福島県立医科大学	=13	12	東京理科大学	14	12	広島大学	14	=10	福岡女子大学
15	16	東京慈恵会医科大学	15	9	津田塾大学	15	15	東京理科大学	15	14	東京外国語大学
16	17	聖マリアンナ医科大学	16	7	北海道大学	16	16	横浜国立大学	16	16	名古屋商科大学
17	15	東京工業大学	=17	20	会津大学	17	18	国際基督教大学	17	19	早稲田大学
18	=21	大阪大学	=17	18	広島大学	18	17	千葉大学	18	20	一橋大学
19	=21	名古屋大学	19	24	一橋大学	19	=69	東京医科歯科大学	19	27	大阪大学
20	19	産業医科大学	20	=10	名古屋大学	20	23	岡山大学	20	7	京都外国語大学

※「昨年」は2021版の順位です。

※順位横の「=」表記は、同順位であることを示しています。同順位の場合は英語表記のアルファベット順で掲載しています。

THE Chief Knowledge Officer : Phil Baty によるコメント



日本の大学は、THE の主要な国際ランキングに非常に積極的に参加していますが（実際、日本は THE 世界大学ランキング と THE インパクトランキング の両方で、世界で 2 番目にランクイン大学が多い国です）、この日本独自のランキングでは、他の国にはない独自のデータセットを用い、従来の国際ランキングよりも幅広い指標にて、日本の高等教育の質をより深く詳しく検証します。

THE 世界大学ランキング日本版は、日本の優先順位に基づき、学生自身の意見も交えて比較したもので、国内外から日本で教育を受けようとするすべての学生にとって素晴らしいリソースとなるだけでなく、大学の経営者や政策立案者にとって確固たるベンチマークと意思決定のツールになる

といえます。

日本の大学にとって非常に困難なこの時期に、3 年連続でランキングトップの座を維持した東北大学は称賛に値します。このような一貫した卓越性の実証は、歓迎されるべきことです。

また、東京大学が 1 つ順位を上げて 2 位の座を獲得したことが注目されますが、世界的なパンデミックによって社会に大きな混乱が生じたにもかかわらず、全般的にランキング上位層が概ね安定しているのも喜ばしいことです。この安定性は、日本の一流大学の回復力と不屈の精神の証です。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ベネッセホールディングス ブランド・広報部 濱野・齋藤・宮本・萩澤
電話：042-357-3658 FAX：042-389-1757

詳細は「THE世界大学ランキング日本版」日本語公式サイトをご覧ください。

<https://japanuniversityrankings.jp/>